

## 吸引・圧送車

工場内で発生した粉粒体を再利用するため、発生源より吸引回収し、受け入れ設備へ運搬・圧送投入する車両です。



NS-20BVYT



SM-13BVYT



吸引作業

※写真はオプションを含みます。

吸引・圧送車					
型式	SM-13BVYT	SP-13BVYTA	SP-16BVYTA	SQ-13BVYT	NS-20BVYT 注1
適用シャーシ	GVW:22トン車 大容量T/M P.T.O付		GVW:25トン車 大容量T/M P.T.O付	GVW:22トン車 大容量T/M P.T.O付	構内専用車 大容量T/M P.T.O付
WB(mm)	6,030	6,535	7,050	6,355	7,050
全長×全幅×全高(mm)	9,720×2,490×3,200	10,790×2,490×3,310	11,175×2,490×3,330	10,380×2,490×3,295	11,710×2,490×3,510
車両重量(kg)	15,810	16,610	18,020	17,120	18,490
乗員(名)	3		2		
車両総重量(kg)	21,955	21,955	24,930	21,930	33,700
タンク容量(m³)	6.6	8.2	9.0	7.5	15.5
最大ダンプ角度	50	45	50		40
吸引風量(m³/min) 注2	40		50		70
吸引静圧(kPa(mmHg))	-96 (-720) 注3		-96 (-720) 注4		-93 (-700) 注4
圧送圧力(MPa(kgf/cm²))			0.19 (1.9)		
最大積載量(kg)	5,980	5,180	6,800	4,700	15,100

注1) 構内専用車 注2) 13kPa(-100mmHg時) 注3) 封入水温15℃時の最高到達圧力 注4) 吸引ブレーカ使用時  
※車検取得のため、比重証明が必要な車両を含みます。  
※本仕様は予告なく変更する場合がございます。

## 圧送専用車

製鉄所構内でのダスト専用の運搬・圧送車です。吸引装置が無い分、大容量のレシーバータンクを搭載しました。吸引装置と連結して吸引回収作業が可能です。さらにタンク容量の大きい輸送専用車もございます。(受入設備から外部エアを供給して、圧送作業を行います。)



AR-20AYT  
(写真は輸送専用車)



圧送排出

### バッグフィルタ室・回収室分離方式を採用

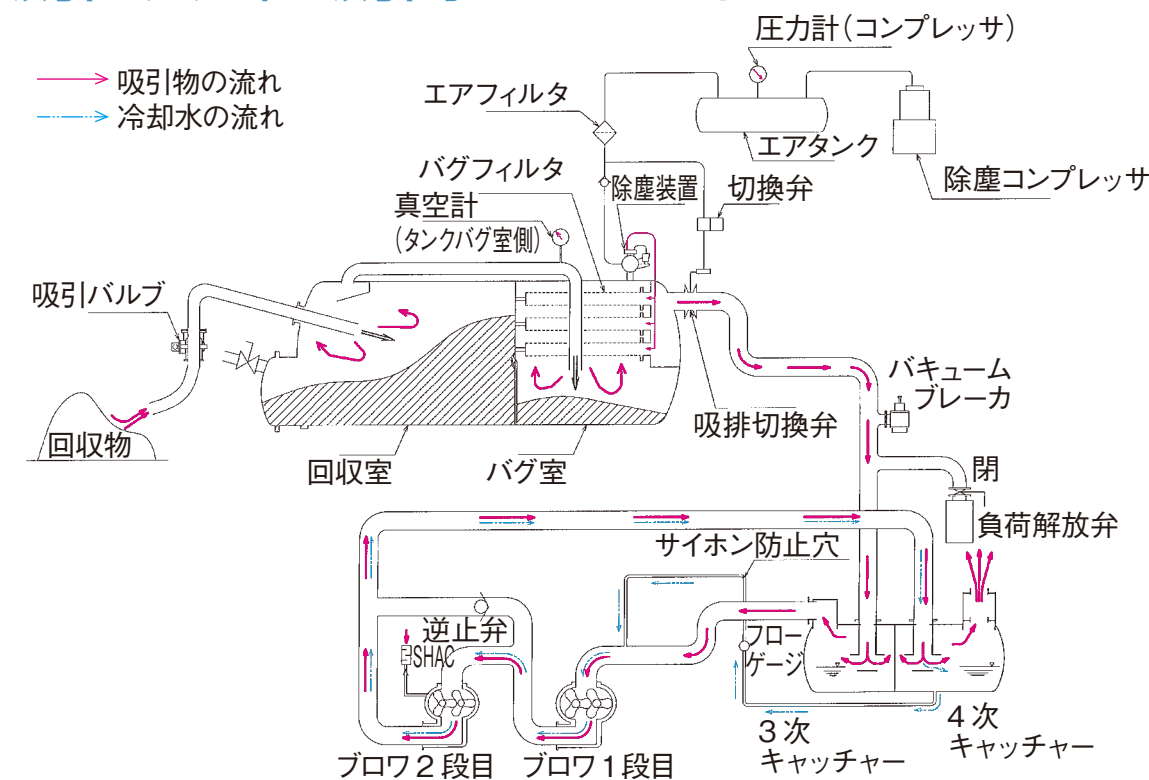
回収されたダストは、まず回収室に入り、満杯となった後レシーバータンク前に設けられたバッグフィルタ室へ堆積し始めます。また、バッグフィルタはバッグフィルタ室上部にセットされています。回収されたダストに小さい塊が混入していても直接バッグフィルタに接触することはなく、フィルタを傷つけることはありません。  
・排出時は仕切り板が開きバッグフィルタ室内の回収物も全量排出されます。  
・吸引・圧送車はダンプアップによる排出とは別に圧送排出が出来るようになっています。  
・空冷式ブロフでの対応も可能です。

※写真はオプションを含みます。

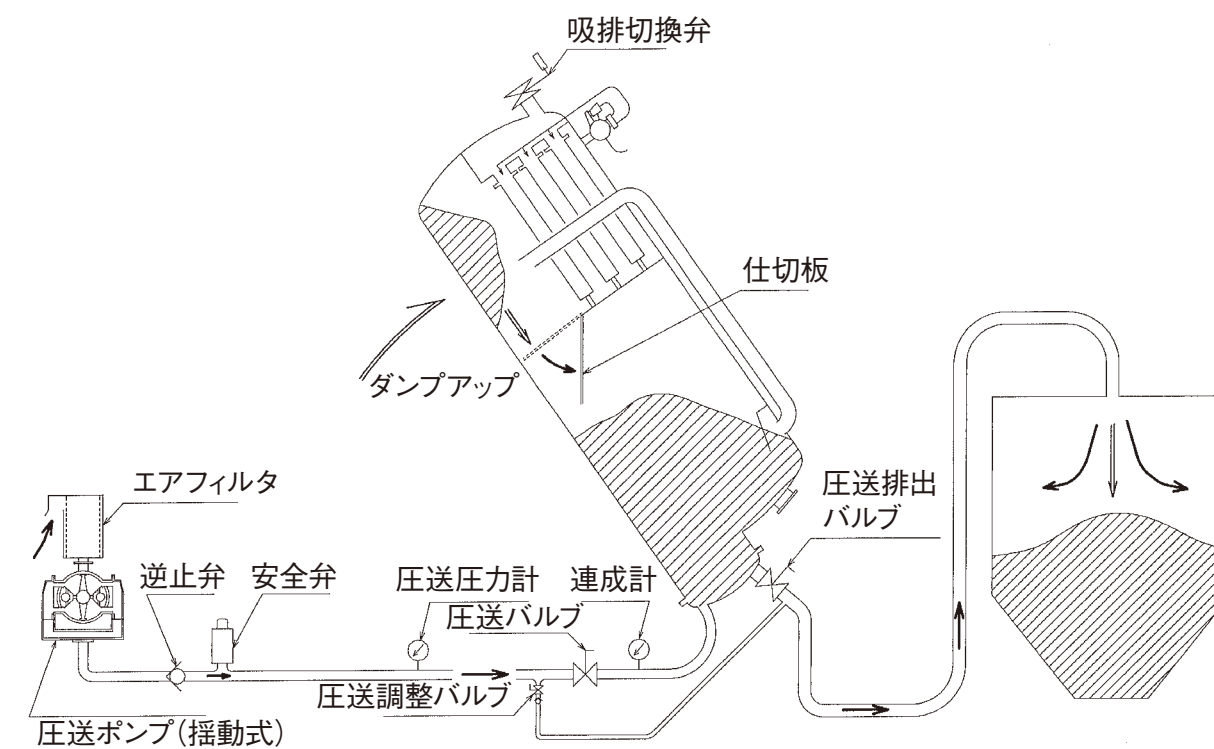
圧送専用車			
型式	AR-13AYT	AR-16AYT	AR-20AYT 注1
適用シャーシ	GVW:22トン車 大容量T/M P.T.O付	GVW:25トン車 大容量T/M P.T.O付	構内専用車 T/M P.T.O付
WB(mm)	5,525	7,035	5,925
全長×全幅×全高(mm)	10,070×2,490×3,160	11,110×2,490×3,100	10,150×2,490×3,480
車両重量(kg)	14,840	14,690	16,570
乗員(名)	2		
車両総重量(kg)	21,950	24,950	36,280
タンク容量(m³)	12.7 (実容積: 11.7)	14.1 (実容積: 12.1)	18.0 (実容積: 15.5)
最大ダンプ角度	40	45	40
吸引風量(m³/min)	—		
吸引静圧(kPa(mmHg))	—		
圧送圧力(MPa(kgf/cm²))	0.19 (1.9)		
最大積載量(kg)	7,000	10,150	19,600

注1) 構内専用車  
※車検取得のため、比重証明が必要な車両を含みます。  
※本仕様は予告なく変更する場合がございます。

### 吸引・圧送車 吸引時フローシート



### 吸引・圧送車 圧送時フローシート



※圧送専用車も同様 ※輸送専用車は外部より排出